

## 「多文化共生」を考える研修会2020 開催結果

### 1 趣旨

日頃から外国人県民と接する機会が多い県・市町職員、教員、福祉事務所などのケースワーカー、日本語ボランティアなどを対象に、外国人県民の現状や様々な課題について、共に学び、理解を深めるための研修会を開催することにより、すべての人々が安全で安心して生活できる多文化共生社会の実現を推進する。

### 2 主催

(公財)兵庫県国際交流協会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市

### 3 内容

テーマ	時間	内 容	講 師 等
10月29日（木）Zoomによるオンライン開催			
総 論	13:30～13:35	主催者あいさつ	(特非)神戸定住外国人支援センター 理事長 金 宣 吉
	13:35～15:00	見えない境界線に生きる ～多様性を当たり前にするために～	三木 幸美 ((公財)とよなか国際交流協会職員)
	15:15～16:45	入管法90年改正から30年 -『日系人』受け入れを振り返る	山口 元一(弁護士)
11月1日（日）Zoomによるオンライン開催			
外国にルーツを持つ 子どもの教育	13:30～15:00	『発達障害』とされる外国人の子どもたち	金 春喜(新聞記者)
	15:15～16:45	外国ルーツの子どもと保護者の困りごとへの対応、神戸市の新しい取り組み	辻 敏彰(神戸市教育委員会職員)
11月5日（木）Zoomによるオンライン開催			
地域における多文化 共生の取り組み	13:30～15:00	愛知県と豊橋市の多文化共生の取り組み	杉山 美紀((公財)愛知県国際交流協会職員) 三輪田 貴(豊橋市職員)
	15:15～16:45	外国人住民への新型コロナの影響	草加 道常(NGO神戸外国人救援ネット相談員)
11月8日（日）Zoomによるオンライン開催			
難民・移民支援の現 状	13:30～15:00	難民支援の現状	石川 えり(認定NPO法人 難民支援協会代表理事)
	15:15～16:45	地域における多様性理解 ～心の距離を縮めるには～	河越 恭子(三木市国際交流協会職員)